

## 経過

- ・工事車両の通行に対し、周辺区の地元役員に説明、地元から高速利用や通学時間帯の配慮などの要望を受ける
- ・R5年4月から万博工事の本格化に伴い、工事車両の通行台数の大幅増が見込まれている

## 目的

- ・工事車両の通行に対し、地元からの苦情等により、工事進捗に影響がでないよう、地元理解が必要なため、今後地元をはじめとする広く市民の理解・協力を得るため、機運醸成もかねた以下の広報の充実を実施

## これまで

### 1) 周辺3区の連合町会長会議等での説明

- 対象：地元町会役員
- 頻度：沿道町会は2カ月ごと、連合町会長会議は年2回以上実施
- ・夢洲関連事業の概要、工事車両の管理手法・安全運転の遵守について説明。

## 新たに

### 2) 本市HPへの掲載

- 対象：市民全般
- 頻度：1カ月ごとに更新
- ・R5.1月より、定期的に本市HPに夢洲関連のインフラ工事の進捗状況を報告。

### 3) 区の広報誌への掲載

- 対象：周辺区民
- 頻度：年間2回以上の特集記事（当該区）、年間2回以上のお知らせ（周辺区）
- ・会場周辺の3区を対象にR5年3月号より、区発行広報誌にインフラ工事の進捗状況を掲載。
- ・当該区は特集記事、周辺区にはお知らせ記事を掲載。（発行部数：各区約5万部 全戸配布）

### 4) パンフレットの作成

- 対象：市民全般
- ・R5年3月を目途に夢洲関連事業のパンフレットを作成。
- ・区役所の窓口等に配備し、広く配布。
- ・HPのQRコードを掲載し、進捗状況を簡単に閲覧できるようにする。